旅と文化
発行所
東京都千代田区
神田神保町2～30
財団法人全国
修学旅行研究協会
電（301）0531・2426
編集・発行人
永井熙

さくらフイルム
小西六写真工業

近畿地区高等学校 修旅委結成近し

修旅海上輸送懇談会の成果

八月二十日、大阪市大手前会館において、第二回目の近畿二府四県の府県立、市立、私立各高校長会長の〃修旅懇談会〃——が、全修協近畿地区協議会の提唱によつて、開催された。当日は海上輸送をテーマとして、関西汽船より船客部長三宅正夫氏、団体輸送の立花係長をゲストに招き、当社、自慢の映画〃瀬戸内海〃——を鑑賞したあとで、全修協近畿地区協議会長岡本氏の司会、京都市立洛陽高校長奥谷久彦氏を座長にして、会が進められた。

三宅部長の話によつて、修旅の海上輸送には次のような隘路があることが判明した。

① 修旅専用船は三億円かかるが、等級なしのものとなるので、シーズン・オフに一般客に流用できなく、むつかしい研究テーマである。

② 復路だけ船というケースが多く、往路は空船を運航させなければならない場合があり、学校間で連絡がとれる計画輸送が必要である。

③ 計画輸送が実施されるならば、現在就行している客船を改装して、修旅第一主義の準専用船にしてもよい。

結局、学校側として、関西汽船に対し専用船を強く主張するためには、近畿高校の九州向修旅において、各校バラバラの状態で実施するのでなく、連合的な方法を加味した計画輸送を先ず具体化されなければならないことが明らかになつた。

そこで、提唱団体である全修協より左記の提案を行つた。

①近畿地区高校長連絡協議会内に修旅委を設けること。

② 修旅委には府県教委、全修協を加えること。

③ この修旅委は修旅全般のことを研究し、その向上実現のため行動をとるが、当面、九州向けコースの海陸併用の計画輸送問題をとりあげる。

——この提案に対し、原則的には全員賛意を表したのであるが、なお委員会の組織化に対しては、なお慎重にことをはこび、計画をしなければならないことが多くあることが検討され、奥谷座長によつて次のように、結論をみたのであつた。

〃これまで二回に渉る会議の内容をプリントし、修旅委の構想を第三回目の懇談会を近く開催して提案し、結論をうること〃となつた。

暑中休暇であり、まことに炎暑の候であるにもかかわらず、長時間の懇談は、修旅改善に対する現揚代表高校長先生の熱意によつて有意義に終了することができた。

今秋には、近畿地区高校長連絡協議会の中に修旅委が発足するであろう。これら善意ある人々の計画促進にあたり、全修協の近畿二府四県の支部長先生の労苦に感謝の意を表さねばならない。

なお、当日の出席者は次の通りである（敬称略）

大阪 市立工芸高校長 渡辺賢一
〃 府教委体育指導係長 館野進
京都 市立洛陽高校長 奥谷久彦
〃 府立鴨沂高校長 倉知栄雄
兵庫 県立夢野台高校長 沖一郎
〃 県教委指導主事 福智盛
滋賀 県立大津高校長 馬場正男
〃 県教委指導主事 堀井治一郎
奈良 市立高田商高校長 土井実
〃 私立育英高校長 藤井長治
和歌山 県立和歌山商高校長 内藤俊彦

全修協は、山本理事長、岡本（兵庫）石川（大阪）芦田（京都）吉田（奈良）宮所（和歌山）

鳥取県における修学旅行の近況

全国修学旅行研究協会鳥取県支部長 **伊佐田甚蔵**

近来の旅行は大人といわず子供といわず、誰もが日常茶飯時に行われる様になつている。ことに小学校、中学校、高等学校等で行われる修学旅行の特色として

1、目的地が次第に遠くへ、或は特殊な土地へ目指されていく、

鳥取県の例をあげると、高等学校では主として関東（東京、箱根、日光方面）であるが九州方面へ一部が或は全部が変りつつある。

中学校では関西方面で、大阪、神戸、京都、奈良、中には名古屋、伊勢方面がその大部分である、然るに年一年と関東方面へ足を延ばす方向に変りつつある。小学校は岡山方面、四国方面から関西方面に変りつつある。

2、単独から連合へ

単独行動は便利な点もあるが臨時列車編成で出発する方が有利な点が多いので、次第にその方向へ進みつつある。県下で中学校は殆んど全部その方向にある、小学校も次第にその方向に進み、小数残りのものも目下その研究に進んでいるものが多いから明年あたり殆んどその線に進むものと思われる。

高等学校でも一部その方向に話合いが進められている。

何れにしても方向は近きより遠きに、時期が一定し易いので自然、列車の利用、その他施設の利用が単独に目指される事と同時の要求を果し得ない場合が多いので、連合して臨時列車で出発するようになると、余程緩和されると思われる。尚望ましい事は、一部都会地の如く専用列車を利用出来る方向までになりたいとは識者の語り草になつている。

3、修学旅行運営上の問題として

イ 専用列車、臨時列車の場合は放送設備を利用して学習を進めることである。業者をして設備せしむれば一層好都合となる。

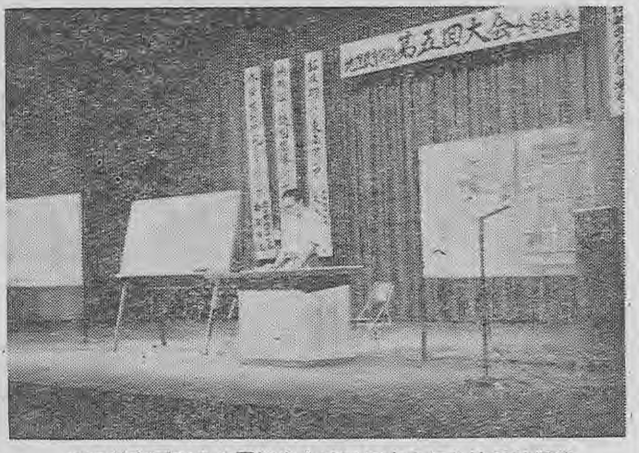
ロ ガイドブックをどうするか、

目的地が大部分一定すれば、その解説や、写真図表を共同製作に移して、単価を安くすることが出来る。尚、白紙を加えて、切り抜き或は、写真、図表を各自に附加せしむるよう用意することが必要になる。

ハ 添乗員を配すること

教師は学習の指導、管理に専念し一切の交渉、世話ぶりに関しては専門の添乗員を配することが適当である。小学校、中学校はもとより、過去に於てその経験がなくて全部を教師がやつている。現場で色々の困難を感じていたのは高等学校であつたが、添乗員を配することによつて目的を容易ならしめることを経験して以来、その要求が高まつてきたようである。

一般に不可能の如く考えられているのは専用電車の問題である。〃旅と文化〃を見てわかるように東京、京阪神、東海三県等では（その苦労は別として）希望の期間に希望学校を公平に割当て、スムーズに実施している点は全く憧れのまとである。若しそれが今日以降に於て可能な点が見出されるならば少々大きくても広い範囲に連合して、努力してその期成運動を展開するならば全国的に児童、生徒が利便を受けることになる、そうなつたら、父兄母姉の方たちも同伴して子供の幸福を安心して現場に見出すことが出来るようになつて、その上に学習の理想が企て得ると思うのである。父兄母姉の理解は年々深くなつてくるようであるから、いかに山間へき地の方たちでも、都会地の方たちとかわりなく、幸福が得られることになるので次第に希望が地方の識者の間にも拡がつてくるようである。



地理教育研究会全国連合会第五回大会における谷信勝氏（都立城南高校）の修旅研究発表

地理的に修旅を研究

地理教育研究会全国連合会 第五回大会で発表

地理教育研究会全国連合会（会長松木茂）の第五回大会が、去る八月一日より四日間に亘り、東京都杉並公会堂において全国より五百人の参加者を得て盛大に開催された。特に第二日目の修学旅行研究発表と第三日目の都内修学旅行コースの実地巡検は、修旅の改善と向上に寄与するものが大きかつた。

八月二日午後よりの修学旅行研究発表は次の諸氏によつて次々と行われた。

（一） 修学旅行の方面別研究
東京都立城南高校教諭 谷信勝

（二） 東京に来る修旅の生徒数
東京都立江戸川高校教諭 渡辺謙

（三） 東京に来る修旅の団体数
東京都立台東商高校教諭 井上一弥

（四） 東京における修学旅行の宿泊状況について
文京区立茗台中学校教諭 小椋憲臣

（五） 東京都内の見学コースについて
東京都立白鴎高校教諭 川合元彦

各氏の発表は十五分に限られた為、詳細な点までは言及できなかつたが、地理学的な立場から修学旅行の実態を分析された点において注目に値した。ついで日修協事務局長秋田貞男氏より、事例を中心としての修旅の指導の在り方やその他をわかり易く話されたのはよかつた。

次いで八月三日は午前八時半新宿駅より、バス一台にて三〇名が都内巡検に出かけた。見学地の説明は城南高校の谷信勝氏、駒場高校の木村三郎氏、全修協の山本実氏等が次々と行い、午後五時過ぎ新宿駅にて解散した。

東京に誕生した 近代設備の修旅会館

お茶ノ水……日本学生会館
代々木……東京青年文化会館

日本学生会館

お茶の水の高台にそびえる鉄筋コンクリート五階建の日本学生会館は、東京青年文化会館と共に修学旅行の生徒千名以上を一度に宿泊できる施設である。この会館の特長は第一に東京都の中心にあつて交通や環境のよいことであり、第二に食堂、売店、ロビー、暖房等の施設が良くて生徒の掌握や指導が容易であること、第三にサービスの面で、栄養やカロリーを工夫した食事、清潔な浴場や便所、マイクや映写施設を持つた大食堂（五〇〇人収容）ラジオによる郷里への安否放送等があげられる。

東京青年文化会館

次に都内随一の環境をほこる東京青年文化会館が、国電代々木駅と千駄ケ谷駅の中間にそびえている。この会館は本年四月に開館したばかりの修学旅行宿泊施設としては一番新しい近代的設備の鉄筋六階建白亜の殿堂である。

この会館の特長は、環境や交通のよい事は勿論であるが、洋室（ベッド式で約七二〇名収容）の設備があり、和室と共に千名以上の宿泊ができる。調理場も清潔で明るく、カロリーや量風味の豊かな食事を三階の大食堂で四〇〇人が一緒に出来るのは非常に便利である。

（右）日本学生会館
（左）東京青年文化会館

〝こまどり〟来春に完成

国鉄本社常務会で正式決定

修旅専用電車〃こまどり〃号の新造に必要な鉄道債券の引受けについては、愛知、岐阜、三重各県修旅委と地元各銀行との間で五月十八日正式契約完了。続いて六月二十日国鉄本社常務会で申請書を受理し、35年度九七四〇万円、36年度一四三八〇万円を夫々契約することに決定した。したがつて九月中に設計が終れば十月より着工にかかり来春三月頃には新造車こまりど号が出来上る見込みとなつた。

七十二ドル五〇セントで 沖縄から修学旅行

首里高校生徒を囲む座談会

沖縄那覇市首里高校一〇四名（引卒教諭石嶺伝幸氏）は、夏季休暇を利用して日本内地の修学旅行に来ているが、去る八月二十一日仙台よりの帰路同校二年生比嘉フサ子さん等十名の生徒を囲み東京の武蔵野旅館において色々と旅行の感想を語り合う座談会を持つた。当日の一問一答は次の通りである。

問 二十三日間の長期に亘る修学旅行の費用は

答 七二ドル五〇セントで邦貨に換算すると二万七千円になる。

問 在校生の幾%が旅行に参加するか。

答 千名の生徒中百四名が参加しているので約一〇%である。

問 旅費は積立か一括払いか。

答 殆んど一括払いが多い。

問 沖縄の通貨はドルなのか。

答 ドルが通貨になつている。内地に上陸すると小遣銭は直ぐ両替えした。

問 どの位の小遣銭を持つて来たか。

答 学校では二〇ドルと定めてあるが、大低三〇ドル（約一万円）位は持つて来た。

問 旅行中の感想はどうか。

A子 沖縄の事情を内地の人があまりにも知らな過ぎるのに驚いた。

B子 内地の都会（東京や大阪）は想像したよりもよくなかつた。

C子 東京タワーの鉄骨の組立工事の大規模なのに感心した。

問 沖縄に欠けているものは。

答 公園や娯楽施設（後楽園のようなもの）がないので沖縄でも作つたらよいと思う。

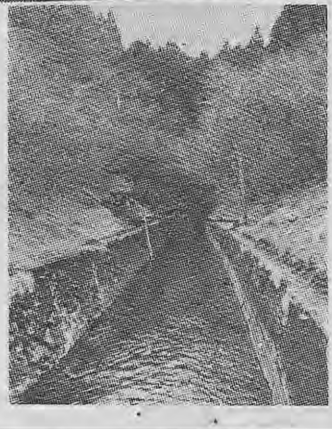
座談会は約一時間位で終つたが、生徒の有志が歌つてくれた沖縄民謡は郷土色が出ていて非常に印象的であつた。

修旅地を歩く（1）

箱根路

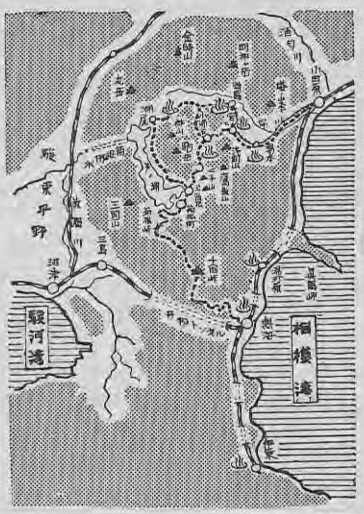
京阪神の〃きぼう〃号、東海三県の〃こまどり〃号など修学旅行専用電車が東海道を走るようになつてから、熱海―十国峠―箱根（一泊）―江ノ島―鎌倉―横浜―東京（一泊）―のコースを修学旅行に選ぶ学校が最近多くなつた。そこで〃修旅地を歩く〃の第一回として熱海から十国峠を経て箱根町、元箱根を通り芦ノ湯、小涌谷、強羅などの温泉地までのコースを紹介してみよう。

左が旧東海道右は国道



箱根用水

芦ノ湖の西北岸湖尻峠の下を、トンネルによつて湖水を静岡県へ流しているのが箱根用水である。入口を深長水門といい、深長疎水トンネルの長さ一三四キロ、殿東二九ケ村の田畑の灌漑の外、現在発電にも利用されている。この疎水は寛文八年（一六六八）深良村の名主大場源之丞が起工、延人員八三万人と多額の費用をかけて三年後に完成したものである。



十国峠より愛鷹山を望む

火山の標本地

雄大な眺望と歴史の探究

熱海市からバスでつづら折の急坂を幾度か曲りながら海抜四〇〇米の高度に昇ると、全市が一望され相模湾が紺碧一色に、眼にしみるようである。やがて突き当りに一里茶屋の古い葦ぶき屋が一軒あつて、初めて十国峠へ抜けた古い時代の名残りを見ることができる。バスは舗装道路を大きく左右に曲りながら、伊豆半島の屋根を進むうち、やがて十国峠に着く。この附近は立木が全くなく草原になつているので眺望は全くすばらしい。日金山の頂上までケーブルが設けられているので、バスを降りると直ぐ乗替え数分で頂上に達することができる。十国峠と言うのはその名の如く伊豆、相模、駿河、遠江、甲斐、武蔵、安房、上総、下総、常陸の古い国名を望めることから来ているが、バスガイドは間違いなくこれを暗記していてしゃべるのにはさすが は商売だな と感心する。修学旅行の生徒はあまり、ケーブルを利用せず（天候や時間の関係のためと思うが）駐車場附近で静岡県側を展望している場合が多い。晴天の場合は是非共ケーブルで頂上まで登ることをすすめたい。頂上からは富士山、箱根火山、愛鷹山を始め遠く丹沢山脈や伊豆半島、三浦、房総半島等がパノラマのように眺められ、中高の社会科人文地理の指導には大いに役立つ。再びバスが箱根の有料道路を十数分走ると、国道一号路線に出て右折し、箱根の外輪山を横切つて芦ノ湖を眼下に見ながら箱根町に着く。ここは箱根関所のあつたところで、関所跡や本陣跡等が残つており、箱根関所博物館には当時のものが数多く陳列され、徳川幕府が交通不便な箱根火山を利用して人や物の出入りを監視した所として封建制度の説明に役立つ。同館には本陣に残つた古文書、各種手形を始め、関所の柱や槍、時計、かご等数百点があつて当後の模様がよくわかる。見学する時は館員の説明があり、また簡単な解説書をくれるので引卒教師が直接説明する必要はない。

考古館の見学は大体三十分もみておればよく、終了後ここから少し離れた関所跡を見ると、博物館での見学が無駄でなかつた事がうなづける。関所跡には石垣や敷石、古井戸、見返りの松などが残つており、当時の面影をしのぶことが出来る。関所跡から元箱根へ行く途中に、旧東海道の杉並木が右手に見えるので、新旧の道路の変遷を通して歴史の流れがうかがわれて面白い。元箱根町は芦ノ湖遊覧船の発着地で、小涌谷、湖尻、湯本方面のバスの分岐点にもなつているので乗降客が多く、土産店や休憩所、旅館等で賑わつている。ここから二子山の南を通る旧東海道が分れている。また湖岸には箱根神社の赤鳥居が、クツキリと周囲の青や緑に浮び上り、富士の麗峯と共に一幅の絵のようである。元箱根から小涌谷、強羅、宮ノ下方面まではバスで三、四十分でゆける。途中駒ケ岳、神山、二子山等の中央火口丘や明神ケ岳、金時山等の外輪山などが次々に眺められるので、カルデラ火山の説明には絶好のコースである。強羅や小涌谷、芦ノ湯、宮ノ下、湯本などの聚落は、火口丘麓や火口原等に出る温泉によつて出来たもので、京浜地帯の保養地として栄え、交通機関の発達と共に今日では東京の奥座敷と言われる程である。

元箱根の芦ノ湖遊覧船発着所より駒ケ丘、神山を望む

箱根火山

箱根火山は富士山より以前に噴火した成層火山（コニーデ）であつたが、中央部が大きく陥没してカルデラになつた。その後カルデラ内に熔岩の噴出があり火口原が殆んど覆われた。やがて第二回目の陥没があり、最初の外輪山の内側に更に外輪山が出来た。現在の浅間山、鷹巣山がそれである。その後中央に神山（火口丘）が噴出した。芦ノ湖は火口原湖、早川は火口瀬、仙石原は火口原である。

箱根

博物館と関所跡

箱根町は徳川時代における東海道五十三次の宿場として栄えたところで、当時ここには関所や本陣や宿屋があつた。町の北には関所の跡の石垣や敷石、古井戸、見返りの松などが残つており、昔の面影をしのぶことができる。（写真は見返りの松）関所跡から箱根町の中央通りに出ると左側に〃関所遺物箱根博物館〃という標柱がある。古びた建物が、関所の遺物を保存している考古館である。関所で使用していたものや、通行手形、印鑑類、制札、各種の絵図や古文書などが 陳列されている。特に本陣関係の古文書には江戸時代に往復した大名や家老の記録が見られる。その中で赤穂浪士に関係あるものでは、本陣に宿泊した大石良雄の名の出ている古文書には「鳥目二貫文、浅野内匠様御家老大石蔵之助様、但風呂代共」と書かれているし、その他関所で使つた時計、槍、当時の関所の門柱の一部、あるいは山かごなどが陳列されて、歴史の研究や指導に便利である。箱根路の修学旅行には是非この博物館の見学をすすめたい。

★〈中学生用〉〈中高生用〉
小学館がおくる新刊辞典の決定版！！
新解国語辞典　金田一京助　佐伯梅友　共編　収載語数六万余　定価三五〇円
ユニヴァース英和辞典　稲村松雄　梶木隆一　共編　重要見出語一万二千　定価二〇〇円
昨年度最大採択数を誇る
学習国語新辞典　定価三三〇円

修学旅行・リクリエーションに
ホルム錠
悪性下痢・食中毒
予防と治療に……
（田辺製薬製品）
みんなの楽しい旅に
マサーシル
船よい・車よいの予防に…
学校保健に奉仕する
保健産業株式会社
本　社　大阪市東区伏見町３～２６
東部支店　東京都中央区日本橋本町３～９
大阪支店　大阪市東区伏見町３～２６
福岡支店　福岡市蔵本町問屋街西一号館

修学旅行
……のご用命は
国鉄公認　近畿日本ツーリスト
本　社　東京都千代田区　国際観光会館内(23)5561
関東営業局　東京都千代田区駿河台ノンソレビル(29)7771
関西営業局　大阪市天王寺区上本町六丁目(77)8551